



荻野 陽太ちゃん

河原口、荻野高広・幸子さんの長男＝1歳



石田 大樹ちゃん

国分寺台、石田浩長・敦子さんの長男＝1歳1カ月



須藤 美希ちゃん

中野、須藤健一・和恵さんの長女＝1歳



荒 紅葉ちゃん

東柏ケ谷、荒隆幸・弥生さんの長女＝1歳



佐藤 耕平ちゃん

国分南、佐藤真司・博子さんの2男＝1歳



鳥居 美彩子ちゃん

河原口、鳥居成光・三和さんの長女＝1歳



笠間 日威菜ちゃん

国分北、笠間幸一・良実さんの長女＝1歳1カ月



志村 光風ちゃん

中野、志村邦彦・純子さんの長男＝1歳

まんまるおぼちゃん



▲大きなナシもぎ取った！

9月8日、「土の日ナシのもぎとり」が行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。たわわに実ったナシを見た子どもたちからは、「自分の顔より大きい」と大喜びの声も。(撮影＝広報まちかどカメラマン 荻原利雄)



海老名の秋の風物詩 2地区でかかしまつり

撮影＝広報まちかどカメラマン 有馬紀子(下・今泉)、近藤道夫(右・中新田)



9月中旬から下旬にかけて中新田・今泉の両地区で行われた「かかしまつり」。両地区とも今年話題の「W杯かかし」などがお目見え。色とりどりのかかしたちとともに海老名の秋は深まっていきます。

このコーナーに掲載を希望する方は電話で広報広聴課へ。対象は、申込時点で満9カ月未満の赤ちゃんに限り、お早めにどうぞ。応募多数の場合は抽選のうえ掲載します。

海老名の秋風景 写真募集

広報えびなに、みなさんが海老名市内で撮影した風景を掲載します。▽募集写真 秋の市内風景を撮影したカラープリント判(サービスク)1人1点。ただし今秋撮影したものに限り、(ネガ・ポジ・デジタルデータ、すでに雑誌などで発表されたものは応募できません)。▽応募方法 写真裏面に撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影日・撮影場所を記入し、11月15日(金)までに直接または郵送で広報広聴課へ。選考のうえ数枚を広報紙上で、また、紙面に掲載できなかった作品を市ホームページ上で紹介。※応募作品は返却しません。1年を季節ごと4回に分けて募集します。以前応募された方も、季節ごとに1回応募できます。 広報広聴課(内27)。

▶新たな発表の場に大歓声

9月20日、「第4回ふれあい市民コンサート」が行われました。今回は会場を市役所からヒナウオークに移し、フルートの音色は約200人の足を止め、訪れた人の耳を楽しませていました。



今月のプロフィール

きっかけは「体力不要」の一言から

8月6日から韓国・ソウルで行われた「2002年日韓高等学校射撃大会」。県立海老名高校(空幸子校長・生徒数1003人)3年生の富樫修太さん(17歳)愛川町在住)は、日本代表の一人として出場しました。

「結果はいまいち。韓国の選手は強かった」と、非常に残念な表情で、結果については多くを語りたくない様子。初めての海外遠征で、とまどいもあつたのでしょうか。実力を出し切れなかったことに悔しさもひとしおです。

富樫さんは、元々ライフル射撃競技の存在すら知りませんでした。同校に入学と同時に競技をはじめ、1年生の新人戦での県7位を皮切りに、めきめきと頭角をあらわし、2年生の時には関東大会予選1位に。個人戦だけでなく、団体戦でも高校総体3位の好結果を残しています。高校生活最後になる今年は、全力で挑み続け、県高校総体1位、関東大会では予選を1位で出場し、3位の好成績を収めた経歴を持っています。

「入部のきっかけは、先輩が体力不要のスポーツといわずか3年で日本代表選手」



海老名高校3年 ライフル射撃部 富樫修太さん

山あいの稲荷神社に1人で入ると、うっそうとした木々で昼なお薄暗く、聞こえてくるのは風の音と自分の足音だけ。ときどき、わくわくした子ども時代の思い出を望地の方に話すと、「今の子どもがときどき、わくわくするのはテレビゲームだけ」と。(新)

編集後記